



世界が尊敬する 日本人



もはや大リーグで日本人選手が活躍するのも、国際コンクールで日本人ピアニストが優勝するのも珍しくはなくなった。それでも世界には、その分野、その地域では誰もがすぐに名前を思い浮かべる「偉大な日本人」があちこちにいる。ヨーロッパやアメリカで、アジアや中東やアフリカで、文化の壁や時代を超えて新たに尊敬を集める人々の姿を追った。

Challengers

国境よりも、超えたい壁がある

Yuko Shimizu

清水裕子

■イラストレーター

一流商社を飛び出し
アートの世界にキック!

社員の士気を高めるための研修が、その社員の人生を変えることになる。清水裕子の上司も予想していなかっただろう。30歳を超えると、思い切った転身はしにくいものです。研修先の講師がそう言ったとき、清水ははっとした。当時30歳。大手商社の広報室の仕事が嫌で仕方なかった。経験はなかったが、本当にやりたいのは絵を描くこと。転身するならば最後のチャンスか……。

それから12年。一流企業の安定した仕事を捨てた成果は大きかった。今の清水はマンハッタンのアートリエを2人の芸術家と共同で使い、そのイラストにはニューヨークカーやタイム、フィナンシャル・タイムズといった有力紙誌から注文が来る。本の表紙やCDジャケット

ILLUSTRATION BY YUKO SHIMIZU